

能
定

家

梅若 紀彰

森 常好

館田 善博
梅村 昌功

間 石田 幸雄

後見 角当 小田切康陽
梅若 長左衛門 行雄

地謡

川口 晃平
松山 隆之
山中 直隆
角当 直隆
山崎 正道
梅田 桜雪
会田 昇
松山 隆雄

《 休憩十五分予定 》

千鳥

野村 萬齋

野村 裕基
高野 和憲

一言

山姥

角当 行雄

金春惣右衛門

一調

船弁慶

川口 晃平

土田 英貴

実盛

松山 隆雄

地謡
山中 遼晶
小田切康陽

浮舟

山崎 正道

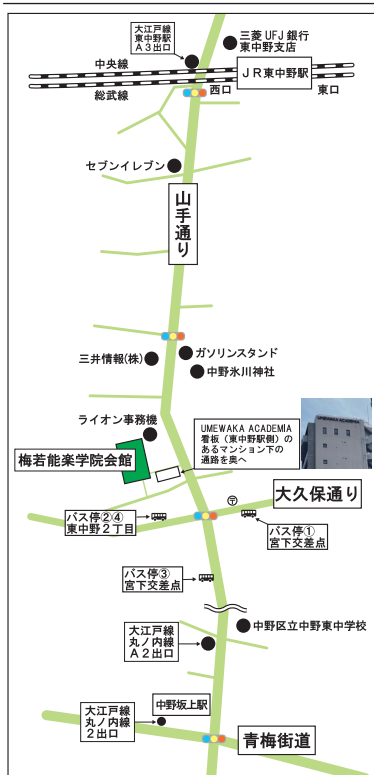
梅若 英寿
内藤 幸雄

仕舞

葛城

伶以野陽子
富田 雅子
鈴木 矜子

連吟



<JR線>
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分

<地下鉄>
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分

<バス>
①関東バス(宿05:中野駅経由)
新宿西口→野方行 宮下交差点下車

②関東バス(宿05:中野駅経由)
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車

③京王バス(渋64:中野坂上経由)
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車

④京王バス(渋64:中野坂上経由)
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車

*当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

東京都中野区東中野2-6-14
(公財)梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL:03-3363-7748
FAX:03-3363-7749

『定家』〜ていか〜
北方から来た僧が京の都に着いた。十月十日余りのことで、散り残る美しい紅葉を眺めていると、にわかには時雨が降ってきた。僧がとある古びて荒れ果た亭(ちん)に雨宿りしていると、里の女から声を掛けられる。聞けばこれは藤原定家が建て、作歌もした「時雨の亭」だと言ひ、定家を弔うように進める。さらに女は「今日は命日ですから」と言ひ、僧を式子内親王の墓に案内する。墓には葛がはいまどつている。女はその昔、内親王が定家と深い契り結び、二人の死後も定家の執心が「定家葛」となつて墓にからみついていることを語る。「実は私がその内親王の霊」と言ひ、女の姿は墓に重なるように消えた。僧は法華經を誦して弔うと、墓は葛に身を戒められる内親王の姿と見え美しい貴人が今は闇の中で苦しんでいる様子だ。読経によつて葛はとかれ、内親王の霊は報謝の舞(序ノ舞)を舞ひ、やがて再び墓所へと埋もれてゆく。

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 4,000円・正面指定料別途 1,000円(指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
- ◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローケ(荷物お預かり)は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当館は自主公演前に全館ウイルス除菌及び消毒を行います。着席は一席毎、上演中も常に換気を行い密を回避します。
- ◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願いします。
当日は館内における飲食を禁止と致します。お客様ご自身による健康管理をよろしく申し上げます。
※個人情報は チケット裏面に記入頂きます。

